

## 主題：キリストのパーソンは信者たちにとって何であるか

### メッセージ 5

#### 義と命

聖書：I コリント 1:30. ピリピ 3:9. II コリント 5:21. コロサイ 3:4.

ヨハネ 11:25. I ヨハネ 5:11-12

#### I. 信者たちにとって、キリストは義です——I コリント1:30. ピリピ3:9. II コリント5:21 :

- A. キリストご自身がわたしたちの義です。なぜなら、神は神の具体化であるキリストをわたしたちの義とされたからです——I コリント 1:30。
- B. キリストはわたしたちの客観的な義と主観的な義の両方です——ローマ 3:24-26. 4:25. 使徒 13:39. ガラテヤ 3:24 後半, 27. マタイ 5:20. 啓 19:8 :
  - 1. キリストはわたしたちの客観的な義として、わたしたちが神によって義とされるための領域である方です——ローマ 3:24-26 :
    - a. 客観的な義は、わたしたちが神によって義とされるために、キリストを信じた時に受けたキリストです——26 節。
    - b. 神の御前のわたしたちの客観的な義としてのキリストの中で、わたしたちは神の義の要求にしたがって神によって義とされ、良しとされま——使徒 13:39. ガラテヤ 3:24 後半, 27。
  - 2. キリストはわたしたちの主観的な義として、わたしたちの中に住んで、神によって義とされることができると、常に彼に受け入れられる生活をわたしたちのためにしてくださる方です——ローマ 4:25. I ペテロ 2:24 前半. ヤコブ 2:24. マタイ 5:20. 啓 19:8 :
    - a. 主観的な義は、日常生活の中でわたしたちの義として、わたしたちから生かし出された内住のキリストです——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:21 前半. マタイ 5:20。
    - b. わたしたちがこのキリストを生き、表現するとき、彼はわたしたちの日ごとの義となります——ヨハネ 6:57 後半. ピリピ 1:21 前半. 啓 19:8。
    - c. わたしたちは信者として、客観的にキリストをわたしたちの義として受ける必要があるだけでなく、主観的に彼をわたしたちの義として生きる必要もあります——ルカ 15:22-23。
    - d. ピリピ第 3 章 9 節の主観的な義は、神がキリストの中でわたしたちの日常生活、すなわち、神と人に対して正しい生活となることです :
      - (1) わたしたちは自分自身の義、すなわち自分の努力から出てくる義の中で生きるべきではありません。自分自身の義は、自分自身の表現であり、自分自身を生かし出すことです——9 節。

(2) 神と人の両方に対して正しい生活は、神がキリストの中でわたしたちの日常生活においてわたしたちの表現となること、また神がキリストの中でわたしたちを通して生かし出されることです—— 1:20-21 前半、3:9。

e. わたしたちの主観的な義であるキリストは、わたしたちの命です(コロサイ 3:4)。彼はわたしたちが義として生き、表現する方です。これは、マタイ第 5 章 20 節で述べられているまさった義です。

C. わたしたちの義としてのキリストは、信者たちが彼を経験し享受することと関係があります。わたしたちは彼と接触し、彼を経験し、彼を享受すればするほど、ますます彼の中で義となります—— I コリント 1:30、10:3-4、6:17。

D. わたしたちは、キリストの中で神の義となる程度にまで、神に和解させられる必要があります—— II コリント 5:18-21 :

1. わたしたちは神によって義とされるだけではなく(ガラテヤ 2:16)、実は神の義となります—— II コリント 5:21。

2. 復活において、キリストは命としてわたしたちの中へと入ります。命として、彼はわたしたちの内側に生きて、わたしたちを神の義へと構成します——ガラテヤ 2:20。

3. II コリント第 5 章 21 節の「彼の中で」という語句は、キリストとの結合を意味します。それは、地位的なものであるだけでなく、復活における有機的なものでもあります。キリストとの有機的な結合において、わたしたちは神の義とされます。

4. キリストの中で神の義となることは、わたしたちの存在において神に対して正しくなることです。これは、透明で水晶のように澄み渡った内なる存在を持つことです。すなわち、神の思いとみこころの中にある内なる存在を持つことです—— 21 節。

II. 信者たちにとって、キリストは命です——コロサイ 3:4、ヨハネ 11:25、1 ヨハネ 5:11-12 :

A. コロサイ第 3 章 4 節は、「わたしたちの命なるキリスト」について語っています :

1. キリストは神であり、また命でもあります。神である命、神であることの命は、キリストの中にあります——ヨハネ 1:4、1 ヨハネ 5:11-12。

2. 主イエスは言いましたが、彼は命であり、彼が来たのは、わたしたちが命を得るためです——ヨハネ 11:25、10:10。

3. キリストを持つ者は命を持っています。そして今、キリストは信者たちの中に命として住んでいます—— 1 ヨハネ 5:11-12。

B. 命はパーソン、神の御子なるキリストです。神聖な命はパーソンであるの

で、わたしたちは彼と接触し、彼を愛し、経験し、享受し、彼と一になり、彼を生き、表現すべきです—— 11-12 節. ヨハネ 11:25. 14:6. I コリント 6:17. ピリピ 1:20-21 前半。

C. キリストがわたしたちの命であるという事実は、わたしたちが彼を命とし、彼のゆえに生きるべきであることの強力な証拠です——ヨハネ 6:57 後半.

14:19 :

1. わたしたちは、コロサイ人への手紙の中で啓示された宇宙的に拡張するキリストを経験するために、日常生活の中でキリストを生きるべきです—— 1:15-19. 2:2, 9, 16-17. 3:10-11。
2. わたしたちがキリストをわたしたちの命とし、彼を生きるなら、その時、彼であるすべてと彼が到達したすべては、わたしたちにとって単に客観的なもののままではなく、わたしたちの主観的な経験となります—— 1:27. 3:4。

D. 神の命はキリストの命であり、キリストの命はわたしたちの命となりました。こういうわけで、それはわたしたちにとって極みまで主観的なものです—— 4 節. ヨハネ 5:26 :

1. 人とその人の命を分けることは不可能です。なぜなら、人の命はその人そのものであるからです。こういうわけで、キリストがわたしたちの命であると言うことは、キリストがわたしたちとなり、わたしたちが彼と一つの命と生活を持っていることを意味します——ヨハネ 14:6 前半. ピリピ 1:21 前半。
2. 信者たちの命としてのキリストには、三つの特徴があります：
  - a. この命は、十字架につけられた命です——ガラテヤ 2:20。
  - b. この命は、復活の命です——ヨハネ 11:25。
  - c. これは、神の中に隠されている命です——コロサイ 3:4. マタイ 6:1-6, 16-18。